

2018年6月13日

岡山県一般生活者意識調査 2018年夏の消費傾向調査

協同組合
岡山情報文化研究所

岡山市北区内山下 1-3-1

代表理事 前坂 匡紀

協同組合岡山情報文化研究所では、岡山県民の暮らし意識を測る指標として、2009年より岡山県の一般生活者の消費や生活に係る意識調査を行ってきました。本年度より質問内容を刷新し、よりリアルな岡山の一般生活者の意識を把握する調査を行ってまいります。今回、夏の消費傾向調査がまとまりましたのでご報告いたします。なお、今後年間4回（5月、8月、11月、2月）定期調査を行い、シーズンごとの地域生活者の感じる景況感や消費需要意識を捉えてまいります。

調査の結果のポイント

1. 岡山の一般生活者の消費意向

- ・今夏は教育、旅行へ支出意向強まる
- ・6～8月の消費意向得点は48.4点（消費意欲は改善傾向に）
- ・3年以内に購入予定 住宅は5% 自動車は12.6%

2. 岡山の一般生活者の景況感

- ・暮らし向き向上に期待感薄く、貯蓄に当てる額も減額

3. 岡山の一般生活者の暮らしの満足度と住まう自県の推奨意向（地元自慢度）

- ・現在の暮らしに満足する人64%、満足度指標（満足－不満足）は27ポイント
- ・岡山県の良さを強く自慢・推奨したい人は30%

4. 消費税税率アップについて

- ・消費税税率引き上げ10%を理解している人は84%
- ・税率アップ前の駆け込み購入意向者は25%
- ・税率アップに伴う購入見直し商品のトップは家電製品

調査概要

1. 調査期間 : 2018年5月25日（金）～2018年6月5日（火）
2. 調査対象 : 岡山県内一般生活者
3. 調査方法 : 岡山エリアの生活者ネットリサーチ ビンサイト モニター会員
4. 有効回答数 : 564サンプル（2,292人依頼中 564人回答）

本件についてのお問い合わせ先:協同組合岡山情報文化研究所 担当:神田

電話 086-225-8181 Fax 086-224-4338 E-mail:kanda@vis-a-vis.co.jp

調査結果

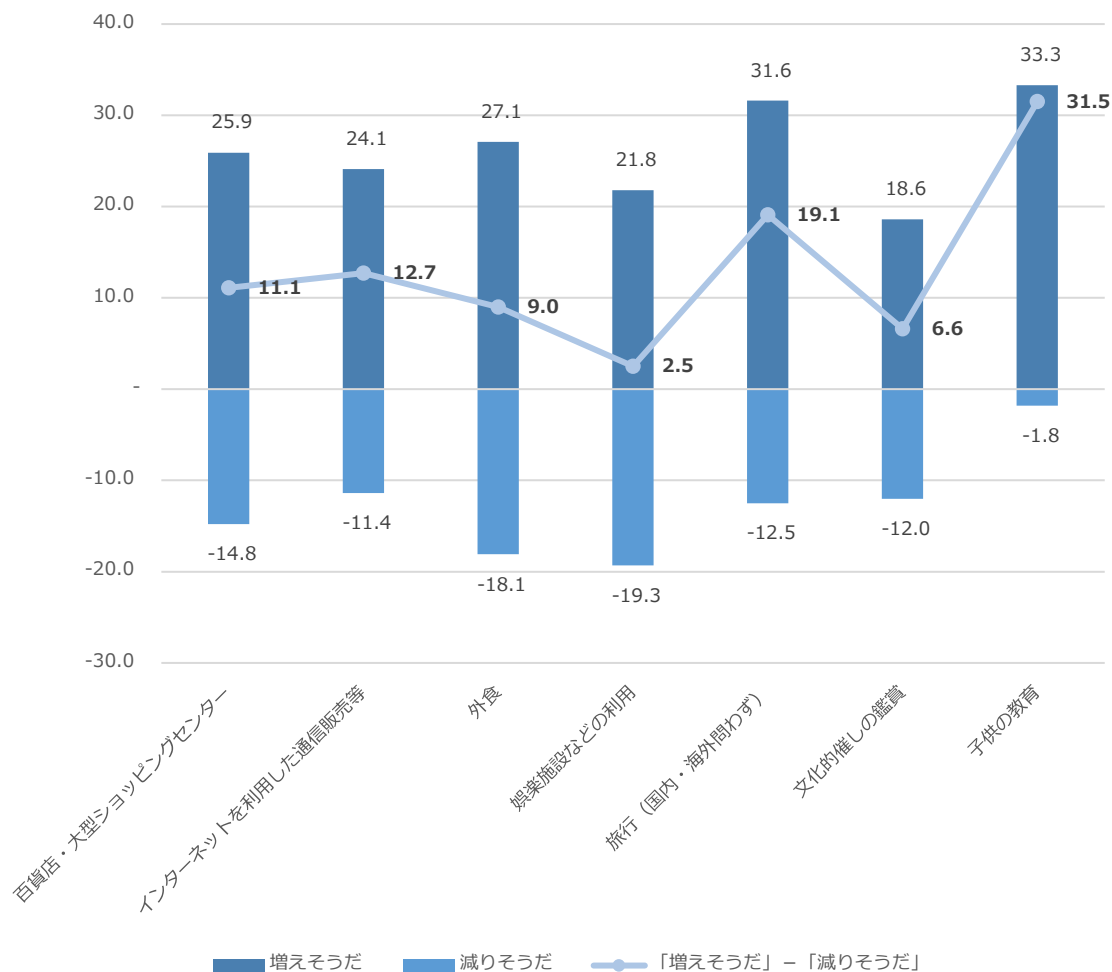
1. 岡山の一般生活者の消費意向

①6月～8月の消費支出意向 ～今夏は教育・旅行へ支出意向強まる～

向こう3ヶ月間の支出を増やそうとする意向が強いのは「子供の教育」であり、子供のいる世帯の33.3%の人が支出増加意向を示し、支出指数（「増えそうだ」－「減りそうだ」）は31.5%ともっとも高い。次いで「国内外の旅行」が19.1%。

個人消費の柱となる「百貨店・大型SC」への支出増加意向は25.9%。また「インターネットを利用した通信販売等」の支出指数は12.7%と「百貨店・大型SC」に比べて1.6ポイント高い。岡山の一般生活者の今後の買場の変化にも注意したい。

図表1 6月～8月（3ヶ月間）の支出意向 N=564



②6～8月の消費意欲得点 **48.4点**（前年同時期 +4.7点）

（消費意向得点＝消費意欲が最大の状態を100点としたときの、6～8月の消費意欲を得点化したもの）

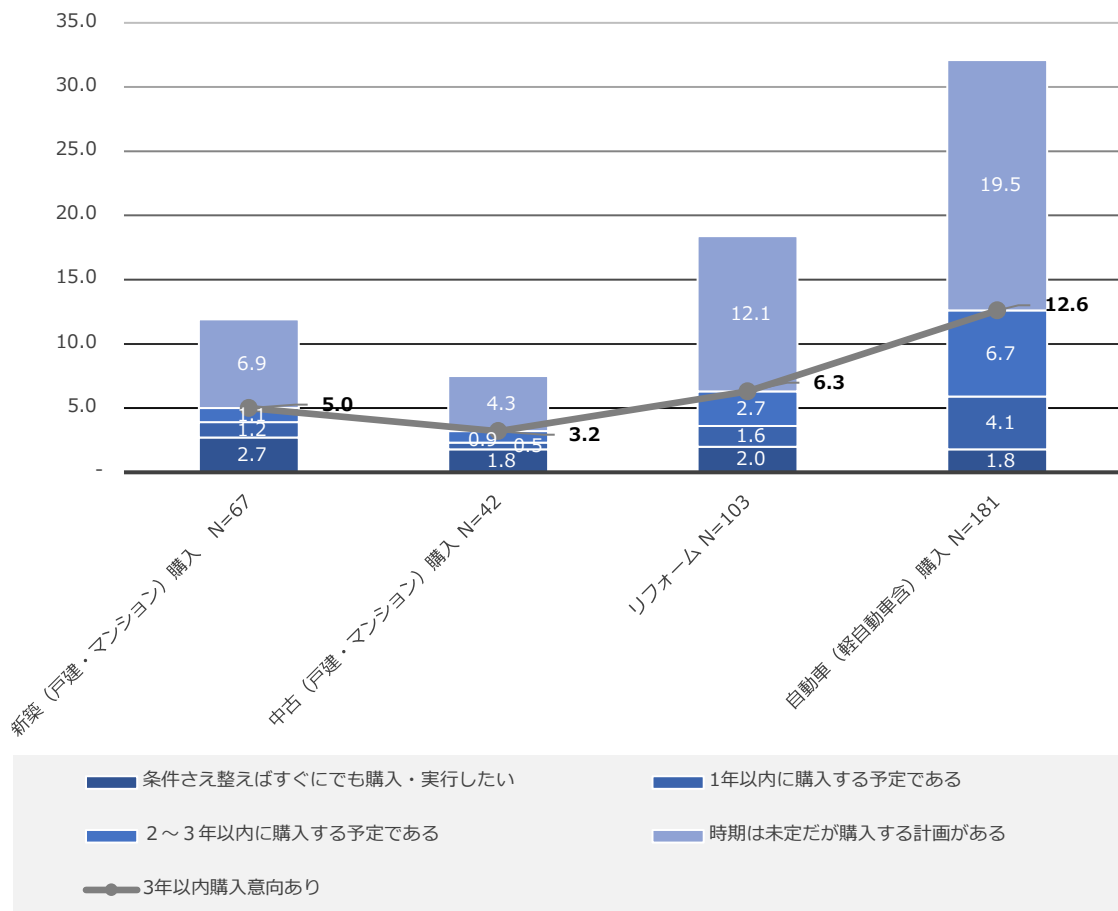
消費意欲を得点で表した数値は、過去同時期の調査と比較すると、5年ぶりに50点水準に近づいている。

2017年同時期調査	43.7点(前年差-0.9点)
2016年同時期調査	44.6点(前年差-1.0点)
2015年同時期調査	45.6点(前年差-0.7点)
2014年同時期調査	46.3点(前年差-3.7点)
2013年同時期調査	50.0点(前年差-4.6点)

③住宅・リフォーム・自動車の購入計画

大型耐久財・サービス（住宅・リフォーム・自動車）の消費意向をたずねたところ、ここ3年以内には実現したいという顕在化した需要は「新築・購入住宅計画」が5.0%、「中古住宅」が3.2%、「リフォーム計画」が6.3%、「自動車購入」が12.6%。

図表2 住宅・自動車の購入計画者の購入意向

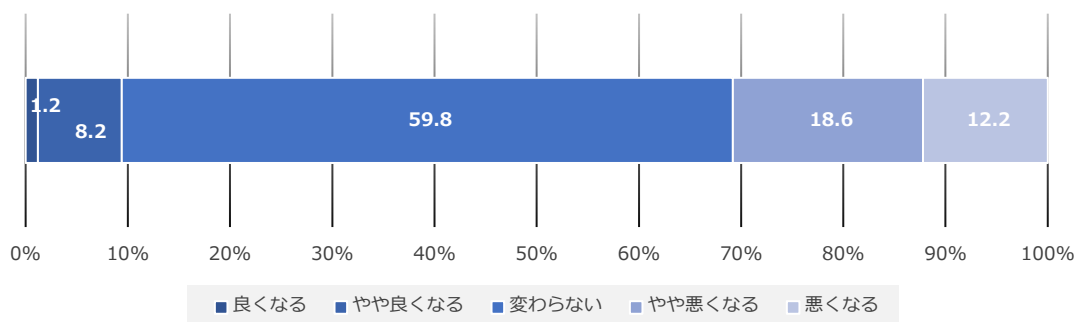


2.岡山の一般生活者の景況感

①今後半年間の暮らし向き

この半年間暮らし向きについて「良くなる」9.4%、「悪くなる」30.8%。その差-21.4ポイントと、「悪くなる」に傾倒している。今後半年間の暮らし向きには、全体では期待が持ちにくい感がうかがわれる。

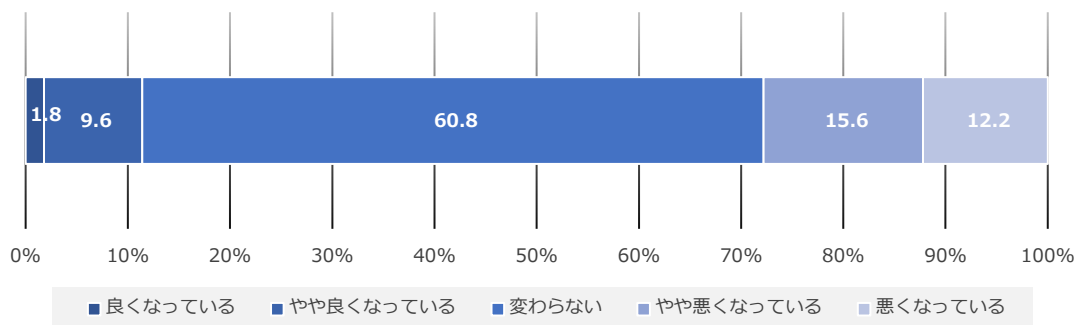
図表3 今後半年間の暮らし向き N=564



②今後半年間の世帯収入

この半年間の世帯収入の見通しは「良くなる」11.4%、「悪くなる」27.8%で、その差-16.4ポイントと世帯収入悪化に傾倒しているものの、「暮らし向き悪化」に比べて「世帯収入悪化」の見通しは若干緩い感がある。

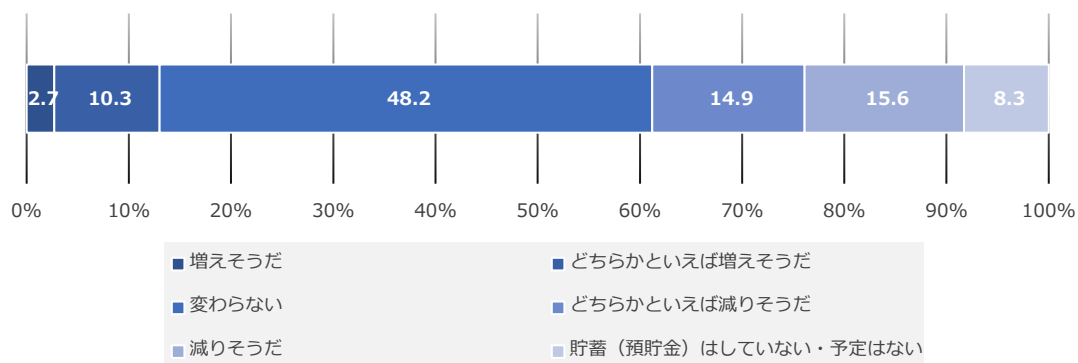
図表4 今後半年間の世帯収入 N=564



③今後半年間の貯蓄（預貯金）に当てる額

今後半年間で貯蓄(預貯金)に当てる額が「増えそう」なのは13.0%、「減りそう」なのは30.5%。その差-17.5ポイントと、貯蓄に当てる額は減少へ傾倒している。貯蓄額に当てる額の増加は、生活防衛意識の現われとして今後の推移を見て行きたい。

図表5 今後半年間の貯蓄（預貯金）に当てる額 N=564

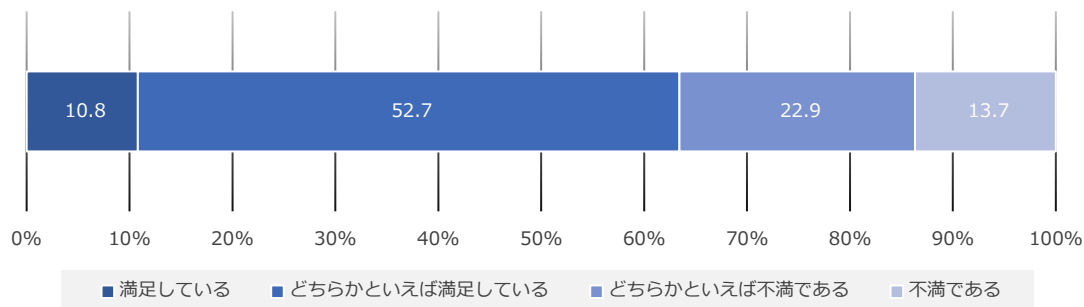


3. 岡山の一般生活者の暮らしの満足度と住まう自県の推奨意向（地元自慢度）

①現在の暮らしの満足度 ～現在の暮らしに満足する人64%、満足度指標27ポイント

県民が現在の自分の暮らしに対してどの程度満足しているか。今期調査での「満足」割合は63.5%、「不満足」割合は36.6%。その差26.9ポイントを「満足度指標」としてとらえ、今後の暮らしの満足度変化を追って行きたい。

図表6 現在の暮らしの満足度 N=564



②住まう自県の自慢度（推奨意向） ～岡山県の良さを強く自慢推奨したい人 30%～

地域ブランドを形成するひとつの尺度として、県民による自県の良さを推奨意向がある。その推奨意向を指標化する方法としてネットプロモータースコア（NPS®）※を採用した。

岡山県の良さを強く推奨（自慢）したい＝「推奨者」（推奨意向 10～9）は 30.0%、逆にあまり推奨したくない「批判者」（推奨意向 4～0）は 12.4%。その差 17.6 ポイントが推奨意向指標、ネットプロモータースコア（NPS®）となる。

この NPS®の経年変化を見ることで、岡山県民の自県の愛着度、自慢度の変化を今後追っていく。

図表 7 岡山県を県外の方に勧めたい度（推奨意向（NPS®））

推奨者			中立者			批判者				
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
6.9	5.5	17.6	23.2	15.4	19.0	2.7	3.5	1.8	1.2	3.2
30.0			57.6			12.4				
推奨者（推奨意向10～8）－批判者（推奨意向4～0）＝NPS※									NPS	17.60

※計算式は日本向けにアレンジ

※ネットプロモータースコア（NPS®）とは、友達や家族、知り合いにその商品やサービスをお奨めしたい強さを 11 段階で回答いただき、集計しスコア化したもの。「推奨意」の割合から、「批判者」の割合を引いたものが NPS®となる。NPS®は企業の成長性や収益の伸び、お客さまの企業に対するロイヤリティの高さに相関性が高く、今回はこの推奨意向を、自県の愛着度、自信度、魅力度の代替指標とし、経年の変化を追って行きたい。

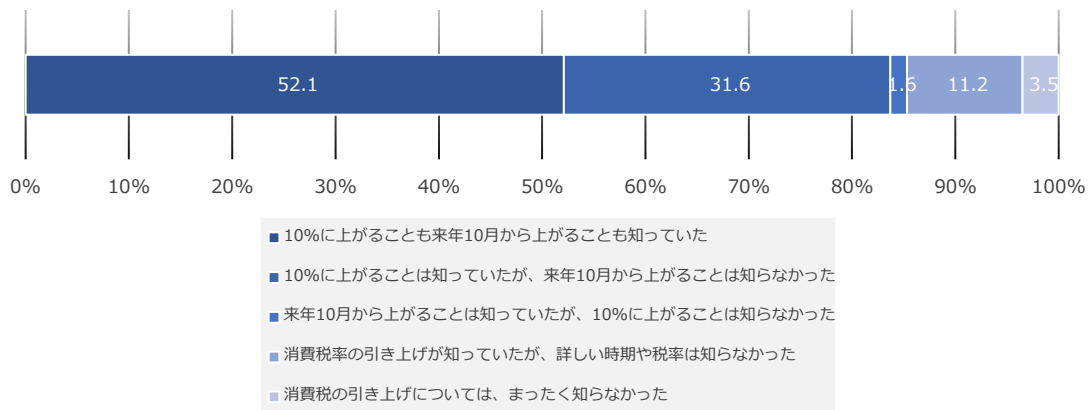
4. テーマ調査 消費税の増額について

①消費税の税率アップについての理解 ～消費税引き上げは10%と理解している人84%～

来年10月に実施予定の消費税率10%への移行予定についての認識度は、5月末調査時点で、52.1%の人が時期・税率共に知っており、税率のみ知っている人（時期までは知らない人）31.6%を加えた83.7%の人が消費税率アップを認知している。

一方、消費税の引き上げについては全く知らない人が3.5%、引上げは知っていても詳しく時期や税率を知らない人は11.2%を占めている。

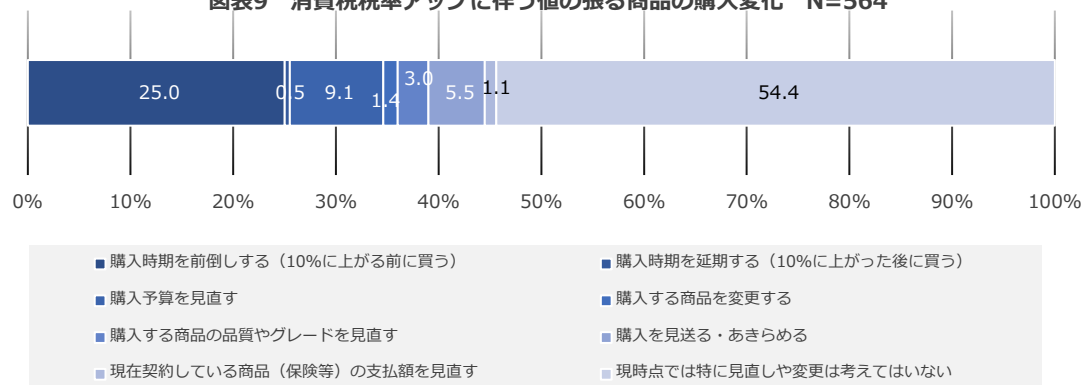
図表8 消費税の税率アップについての理解 N=564



②消費税の税率アップに伴う購買の変化について ～税率アップ駆け込み購入意向は25%～

税率アップ前後の購入態度変化で、最も多いのは「現時点では見直しや変更は考えていない」54.4%。ついで「アップする前に前倒して買う」が25.0%と多く、「予算見直し」9.1%、「商品変更」1.4%、「品質グレード見直し」3.0%、「契約額等の見直し」1.1%といった見直し変更派は14.6%。購入見送り・あきらめ派は5.5%となっている。

図表9 消費税税率アップに伴う値の張る商品の購入変化 N=564

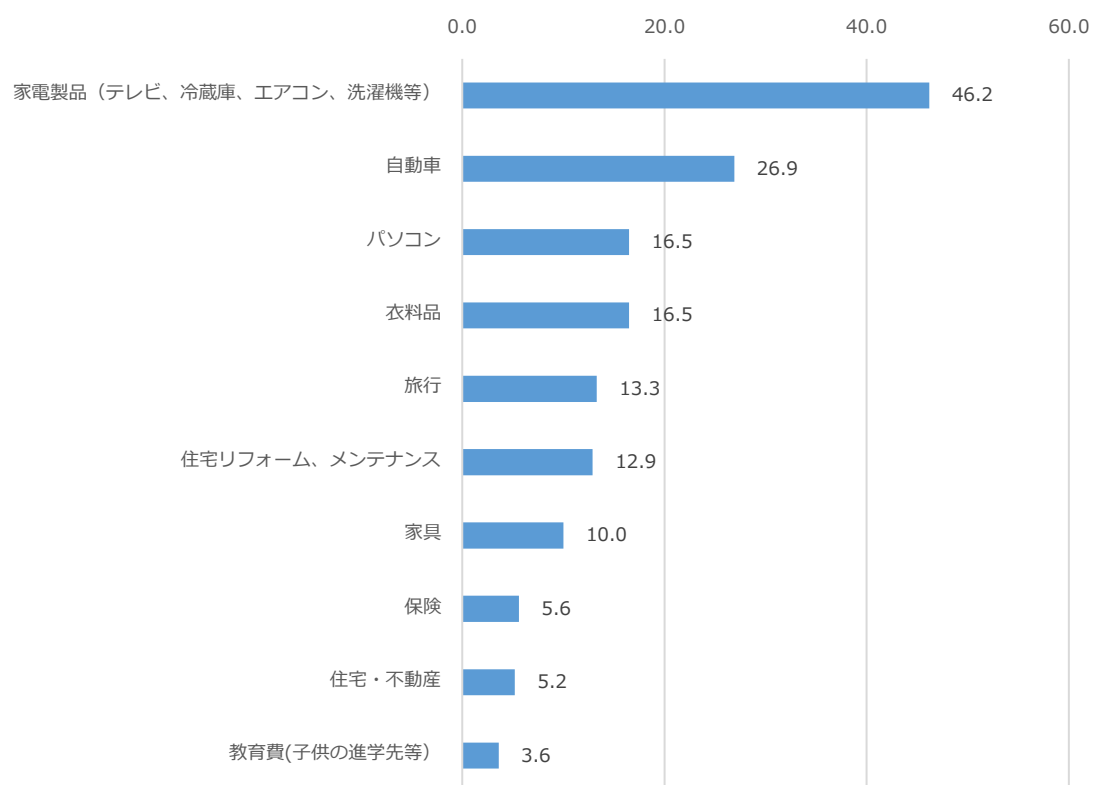


③消費税率アップに伴い、何らかのかたちで購入を見直す商品 ～見直し商品トップは家電～

消費税率アップによる購入見直しをする人の46.2%の人は、「家電製品」を何らかのかたちで見直そうとしている。

ついで見直し割合が高いのは、「自動車」で26.9%、さらに「パソコン」と「衣料品」が同率で16.5%、「旅行」と「住宅リフォーム、メンテ」が13%前後となっている。

図表10 消費税率アップに伴い購入を見直す商品 N=249



以上

回答者の属性

- 1.性別 : 男性 189 (33.5) 女性 375 (66.5)
- 2.年代別 : 20代以下 44 (7.8) 30代 122 (21.6) 40代 188 (33.4)
50代 146 (25.9) 60代以上 64 (11.3)
- 3.職業別 : 会社員・公務員 249 (44.2) 自営・自由・経営者 49 (8.7) 専業主婦
(夫) 114 (20.2)